

平成30年度での見直し(解除)の状況

- ・見直し(解除)フローの適用結果
- ・平成30年度ヒアリング結果の報告
- ・平成30年度での見直し(解除)の状況

令和元年8月2日

2 平成30年度での主要渋滞箇所の見直し(解除)の状況

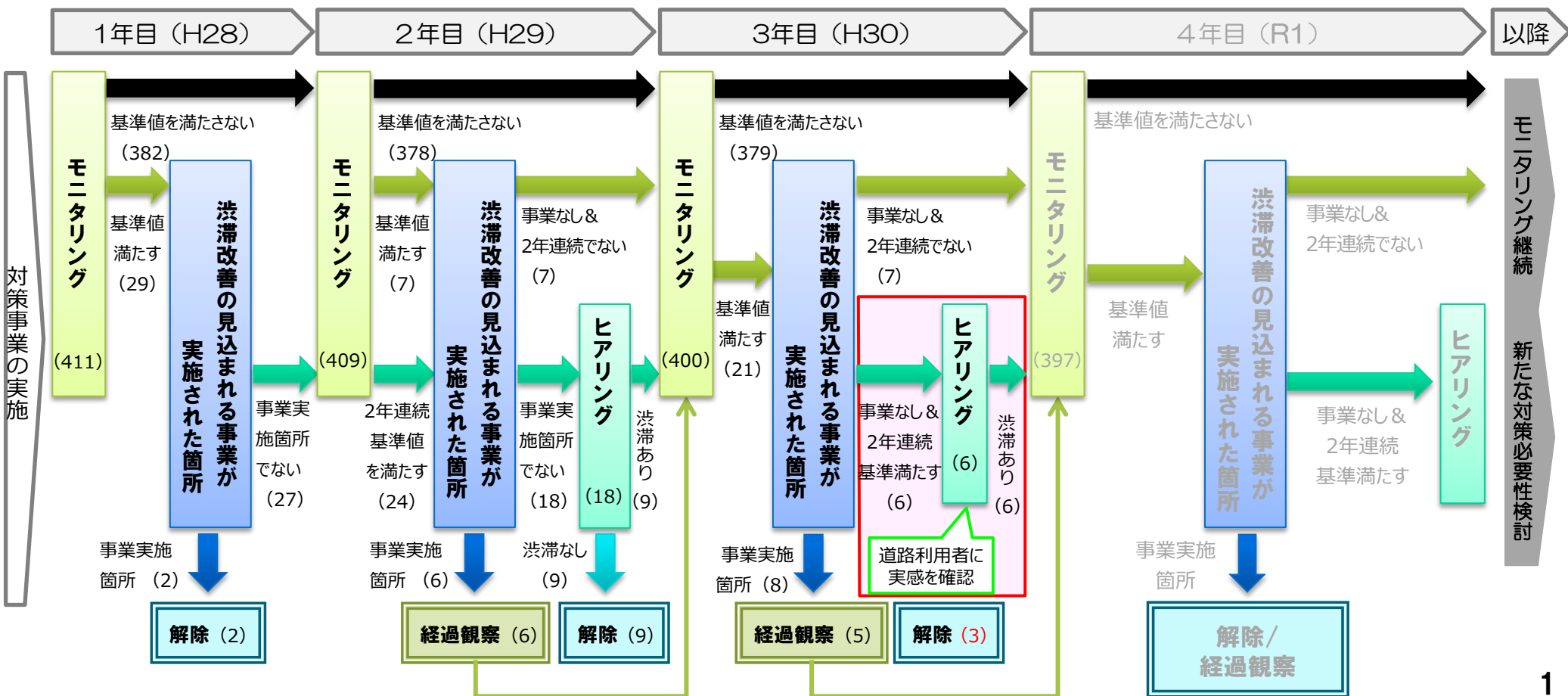
2-1 見直し(解除)フローの適用結果

○主要渋滞箇所の見直し(解除)は、前回委員会にて下記の方針とすることを確認。

- ①対策事業が実施された箇所で、その効果が明確な場合は解除する(単年度のモニタリング)
- ②対策事業が未実施の箇所で、2年連続で基準値を満たす場合(6箇所)は、道路利用者へヒアリングを行い、効果と改善理由を確認して解除する(ヒアリングは、自治体や各協会等を対象に実施)

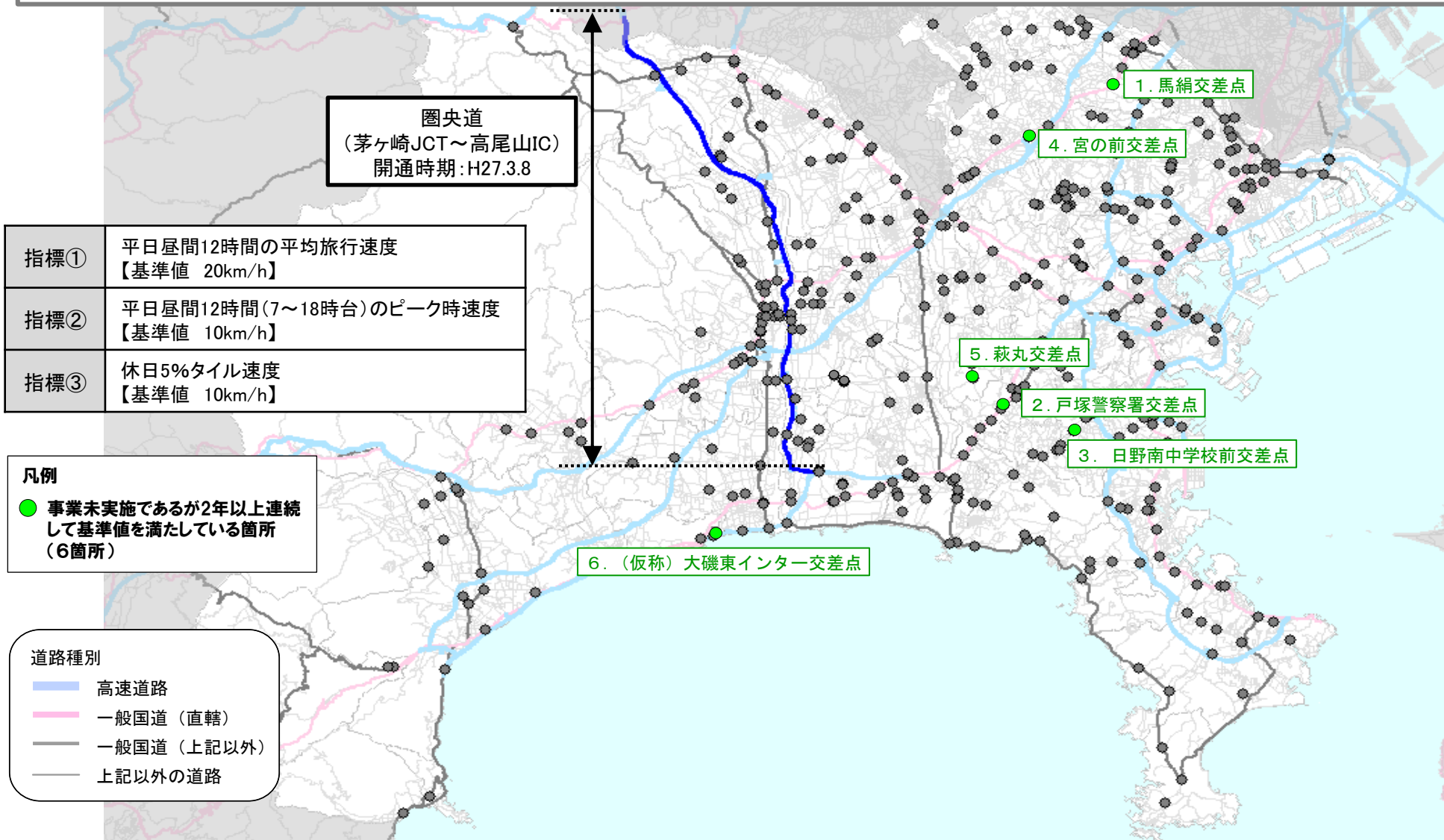
■主要渋滞箇所見直し(解除)フロー

※括弧内の数値は箇所数



2-2 平成30年度ヒアリング候補箇所

○事業未実施で基準を満たした下記の6箇所は、道路利用者へのヒアリングを実施した上で、「渋滞なし」との意見が得られる箇所は解除することとした。



2-3 平成30年度ヒアリング実施概要

○ヒアリング内容(目的)

- ・渋滞対策事業がないものの基準値を満足している箇所の確認
- ・主要渋滞箇所の対策立案等に活かせる知見を収集・把握

○対象

- ・当該交差点の道路管理者(神奈川県、横浜市)
- ・公安委員会(神奈川県警察)
- ・神奈川県トラック協会
- ・神奈川県バス協会(事業者2社)
- ・神奈川県タクシー協会(事業者16社)

○ヒアリング項目

- ・当該交差点における渋滞の認識(あり、なし)
- ・渋滞している場合、その状況(渋滞方向、曜日特性、時間特性等)
- ・当該交差点に影響する沿道状況(大規模施設の立地等)

2-4 平成30年度ヒアリング実施結果

○各道路利用者へのヒアリング結果より、下記の方針とする(協議)。

【経過観察(6箇所)】 萩丸交差点、(仮称)大磯東インター交差点、馬絹交差点、戸塚警察署交差点、日野南中学校前交差点、宮の前交差点

■渋滞状況のヒアリング結果(6箇所)と判定結果

交差点名	所在地	道路管理者		神奈川県警	トラック協会	タクシー協会※			バス協会		判定(案)
						①	②	③	A社	B社	
馬絹交差点	川崎市宮前区	横浜国道事務所	/	×	×	×	×	-	×	-	経過観察
戸塚警察署交差点	横浜市戸塚区	横浜国道事務所	/	×	×	○	×	×	-	○	経過観察
日野南中学校前交差点	横浜市港南区	横浜市道路局	×	○	-	×	○	×	-	○	経過観察
宮の前交差点	横浜市緑区	横浜国道事務所	/	○	×	×	-	-	-	○	経過観察
萩丸交差点	横浜市泉区	横浜市道路局	×	○	○	×	×	-	-	○	経過観察
(仮称)大磯東インター交差点	大磯町	横浜国道事務所	/	○	○	○	×	-	-	○	経過観察

【凡例(回答)】○:渋滞なし(or大きな渋滞は発生していない)、×:渋滞あり、-:回答なし

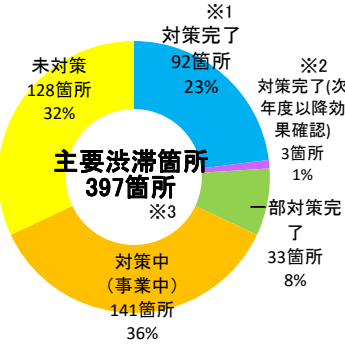
※:タクシー協会は、各社で営業エリアが異なるため、当該交差点を営業エリアにもつ最大3社に確認

2 平成30年度における主要渋滞箇所の見直し(解除)の状況

2-5 平成30年度での見直し(解除)の状況

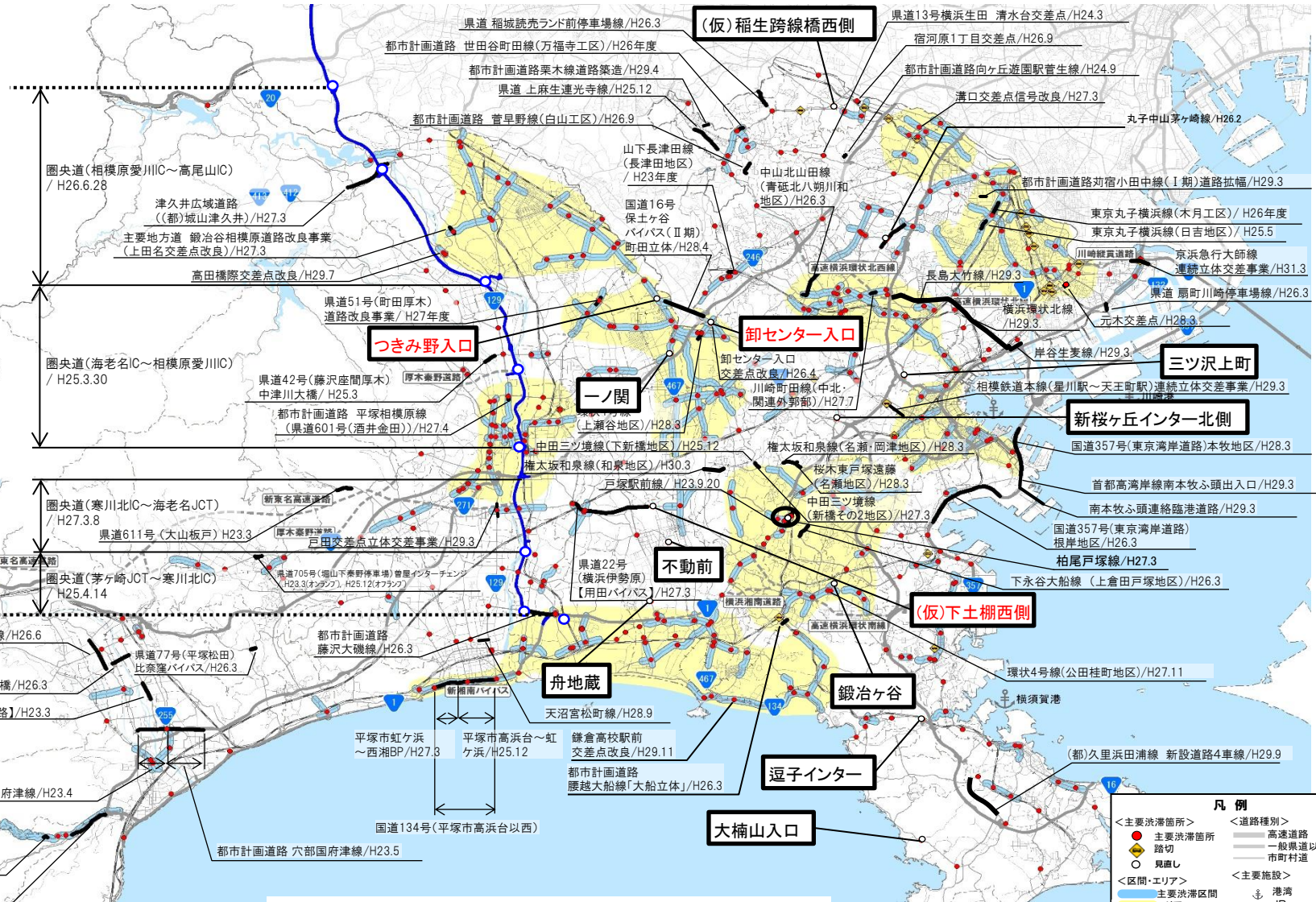
○400箇所の主要渋滞箇所のうち、平成30年度では3箇所が見直し(解除)となり、397箇所となった。

■対策の進捗状況



※1 主要渋滞箇所の対策として位置づけられた事業が完了し、モニタリングによる効果検証が実施された箇所
 ※2 対策完了時期が新しく、モニタリングによる効果検証が翌年以降となる箇所
 ※3 H27に「東海道」、H28に「(仮)勝田橋北側」、H29に9箇所、H30に3箇所を主要渋滞箇所から解除(計14箇所)
 主要渋滞箇所は、特定時は全411箇所であったが、R1.8時点では全397箇所。

凡例



出典:平成25年1月18日関東地方整備局道路部記者発表資料に加筆

凡例
 <主要渋滞箇所>
 ● 主要渋滞箇所
 ● 踏切
 ○ 見直し
 <区間・エリア>
 ● 主要渋滞区間
 ● エリア
 <道路種別>
 ● 高速道路
 ● 一般国道以上
 ● 市町村道
 <主要施設>
 ● 港湾
 ● JR
 ● 私鉄